

番組審議委員会議事録

松竹ブロードキャスティング株式会社

- 1.開催年月日 平成 25 年 12 月 16 日（月） 12：00～14：00
- 2.開催場所 銀座東武ホテル
- 3.委員の出席 委員総数 9 名
出席委員数 6 名（小山観翁、品田雄吉、田中康義、堀江ミエ子、
松本淳、松本行央、）
欠席委員数 3 名（伊藤信太郎、坂田藤十郎、太田博）
- 4.放送事業者側出席 5 名（井田寛[代表取締役社長]、山崎克己[監査役]、
藤本弘之[取締役・編成担当]、鵜澤由紀[編成部長]、
松野俊一[編成課長]）

5.議事の概要

- ・ 経営報告
- ・ 衛星劇場の現状報告
- ・ ホームドラマチャンネルの現状報告
- ・ 質疑応答

6.議事内容

○経営報告

- ・ 10 月より社名を松竹ブロードキャスティングに変更。その時に、担当役員の配置換えも行う。編成担当役員だった井田が営業担当に、営業担当だった藤本が、編成、宣伝担当になる。
- ・ 前回ご報告した新しい部署、イベント事業室のワークショップの活動が始まる。2 人の監督にそれぞれワークショップを開講してもらい、無事に終了。沖田監督は撮影も終了し、来年 9 月以降に劇場公開予定。橋口監督は年明けに撮影を開始し、9 月には劇場公開が決まっている。
- ・ 11 月からは新しい部署としてメディア事業室を立ち上げる。映画制作を担当

してもらふことになる。放送用に作ったオリジナル番組なども今後は展開していけるようにしたい。

- ・今期も現時点では、黒字で収まっていきそうである。放送外収入が大きい。ホームドラマに入っている CM の広告収入が、収入の柱になっている。衛星劇場チャンネルでも今年から CM を入れ始めたが、母数がホームドラマに比べると少ないので、そこからのレスポンスはまだ少ない。しかし、本来のチャンネルとしての利益をもっと上げていきたい。良い兆しとしては、ホームドラマの加入は順調に増えてきている。さらにマイナスが続いていた衛星劇場も秋から 3 か月連続でプラスになってきている。

○衛星劇場チャンネル

- ・映画、舞台、韓流の 3 本柱を軸に放送。最近は韓国ドラマで加入がなかなか増えなかったが、今年放送した「馬医」、「大風水」などでかなり戻ってきた感じがある。今後も「奇皇后」という大作が控えているので、さらなる加入が期待できる。身分の低い人が宮廷にはいるようなドラマが受けている。
- ・新しいジャンルとして、韓国ミュージカルやバラエティの放送も開始。韓国ミュージカルは、アイドルが出演していても歌がうまいなど、質のいいものが多い。またバラエティは他局で放送していた人気があるものをうちで放送するようになり、これ目当てで加入するお客さんもかなりいるという結果も出てきている。
- ・今年は映画界ではメモリアルが多い年だった。そこで特集を組んで盛り上げるように編成を組む。清水宏監督、中村登監督、そして小津安二郎監督の作品を数か月に渡り放送した。
- ・また新しい試みのひとつとして、シニア向けに西部劇を編成。1 つのジャンルだけにとらわれることなく、いろんな層の視聴者を取り込んでいきたい。
- ・今年は歌舞伎座開場という記念すべき年でもあった。舞台上で公演された後すぐに、放送につなげる努力もしてきた。12 月は歌舞伎座開場を見ずに亡くなった名優を偲んだ特集も組む、視聴者からのリクエストを募った。

○ホームドラマチャンネル

- ・韓流、時代劇、国内ドラマの 3 本柱で放送を行っている。
- ・4 月から 15 周年を実施中。
- ・韓国ドラマはベーシック初、日本初放送の作品を集めるように努めた。15 周年企画として、四季シリーズを全作品放送。話題も集めることが出来た。

- ・また新しい試みとして、新年に相撲の特番を放送予定。歴史に残る名勝負を中心に、やくみつるさんの解説つきで放送していく。こういった特番は15周年が終わっても四半期ごとに企画していきたい。

○質疑応答

- ・来年中村座のニューヨーク公演がありますが、そういったものを放送はしないんですか？
→フジテレビが密着をして地上波で放送しているものなので、今のところ衛星劇場での放送の予定はない。
- ・BS ジャパンで寅さんの放送がありますが、衛星劇場への影響は？
→今までは WOWOW などの有料チャンネルには出たことがあったが、ただで見ることができる BS で放送されてしまうのは、正直厳しい。視聴者もやはりただで見るに越したことはない。厳しい状況ではあるが、他との差別化を図るような特集を組んで視聴者をつなぎとめて行きたい。
- ・衛星劇場でのインタビュー番組の中で、今人気の片岡愛之助さんとかに出演してもらうことは出来ないんですか？
→歌舞伎の世界は順序などの格式があるので、人気があるからといって出演してくださいとはならない。そのあたりは松竹演劇部に調整してもらっている。順番を間違えるといろいろと問題なので、そこは慎重にやっていきたい。
- ・小津監督のサイレント映画を放送するようですが、音は何も入っていないものですか？もしそうなら、かなり大胆な放送ですね。
→音楽などもつけず、本当のサイレントで放送する。12月には「サイレント映画の愉しみ」という制作番組を作成。大林宣彦監督や澤登翠さんのコメントもある番組で、視聴者にもサイレントに親しんでもらうような番組を作っている。
- ・「大改造！！劇的ビフォーアフター」はたくさんの放送の中からどのような内容をセレクトしていますか？
→人気のある「狭小住宅」のシリーズを中心に放送している。

以上